この証明書に押印は不要です。訂正する場合は二重線で訂正してください。消せるペンや修正液は使用できません。

記載日　　年　　月　　日

（あて先）
新宿区長

※施工業者記載

施工完了証明書

次のとおり、施工を完了したことを証明します。

１．申請者情報

申請者名 個人・法人・団体	法人・団体名	
	肩　書	
	氏　名	
設置又は施工場所	新宿区	

２．導入した機器について

対象区分	機器区分	施工完了日	備考
個人住宅	□太陽光発電システム	年　月　日	
	□CO_2冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)	年　月　日	
	□家庭用燃料電池(エネファーム)	年　月　日	
	□高反射率塗装(屋根又は屋上)	年　月　日	
	□断熱窓	年　月　日	別途、出荷証明書等添付
	□蓄電池システム	年　月　日	
集合住宅	□太陽光発電システム	年　月　日	
	□共用部 LED 照明	年　月　日	裏面、交換機器内容を記載
事業所	□太陽光発電システム	年　月　日	
	□LED 照明	年　月　日	裏面、交換機器内容を記載
	□高効率空調設備	年　月　日	裏面、交換機器内容を記載

３．施工業者

施工業者名	
住　所	〒　　－
代表者肩書 代表者氏名	
電話番号	

区使用欄

①	字削除　字加入	月　日	相手方氏名	□窓口で確認 □電話で確認	□了承のうえ訂正 □申請時点で訂正済	職員氏名
②	字削除　字加入	月　日	相手方氏名	□窓口で確認 □電話で確認	□了承のうえ訂正 □申請時点で訂正済	職員氏名
③	字削除　字加入	月　日	相手方氏名	□窓口で確認 □電話で確認	□了承のうえ訂正 □申請時点で訂正済	職員氏名

４．機器交換内容　（１頁に全て記入できない場合は、本頁を複製して記入してください。）

◆LED 照明

消費電力が同等以下の機器へ交換する必要があります。通し番号は見積書と共通の番号を記入してください。

	交　換　前			交　換　後			
No	機器名 (ランプの種類･型番)	消費電力 (W)/台	本数	機器名 (LEDランプの種類･型番)	消費電力 (W)/台	本数	通し番号
1		W	本		W	本	
2		W	本		W	本	
3		W	本		W	本	
4		W	本		W	本	
5		W	本		W	本	
6		W	本		W	本	
7		W	本		W	本	
8		W	本		W	本	
9		W	本		W	本	
10		W	本		W	本	
11		W	本		W	本	
12		W	本		W	本	
13		W	本		W	本	
14		W	本		W	本	
15		W	本		W	本	
16		W	本		W	本	
17		W	本		W	本	
18		W	本		W	本	
19		W	本		W	本	
20		W	本		W	本	
計	上記機器の消費電力(W)/台×本数の合計＝		W	上記機器の消費電力(W)/台×本数の合計＝		W	

◆高効率空調設備

APF(通年エネルギー消費効率)が同等以上の機器へ交換する必要があります。通し番号は見積書と共通の番号を記入してください。

	交　換　前			交　換　後			
No	機器名 (製造メーカーおよび型番)	冷房能力 (kW)	APF	機器名 (製造メーカーおよび型番)	冷房能力 (kW)	APF	通し番号
1		kW			kW		
		台･セット数	台 セット		台･セット数	台 セット	
2		kW			kW		
		台･セット数	台 セット		台･セット数	台 セット	
3		kW			kW		
		台･セット数	台 セット		台･セット数	台 セット	
4		kW			kW		
		台･セット数	台 セット		台･セット数	台 セット	

APF(通年エネルギー消費効率)とは(APF2006、APF2015、APFp)
JIS 規格に基づき、ある一定条件の元にエアコンを運転した時の消費電力１kW 当たりの冷房・暖房能力を表したもので、１年間で必要な冷暖房能力の総和(kWh)÷期間消費電力量(kWh)にて求められ、数値が大きいほど省エネ性能が優れているという指標になります。
各数値は「中小企業向け省エネ促進税制対象機器」HP やパンフレット等で確認の上記入してください。
交換前が 2006 年 10 月以前に発売された機種で、APF が設定されていない場合、交換前の APF 欄は「不明」と記入してください。